

『小氷期の気候』国際シンポジウム (LIAC) のお知らせ (第2報)

期 日：1991年9月25日(水)～28日(土)

会 場：東京都立大学 国際交流会館

(八王子市南大沢：京王相模原線「南大沢」駅下車徒歩10分)

■シンポジウム日程

9月25日(水)

●参加登録

●開会式

●セッションA1

生物学的手法(年輪分析を含む)による小氷期の気候復元

●セッションA2

雪氷に記録された小氷期の気候変動

●レセプション

9月26日(木)

●セッションB

古文書・資料にもとづく小氷期の気候復元

●セッションC

小氷期と近年の気候変動

9月27日(金)

●セッションC

小氷期と近年の気候変動(続き)

●セッションD

小氷期の気候のメカニズム

—火山活動と太陽活動—

●パネル討論

●閉会式

9月28日(土)

●テクニカル・ツアー

(海外参加者むけ)

使用言語：英語(通訳なし)

■海外からの主な参加者と発表テーマ

●R.ブラッドレー(アメリカ・マサチューセッツ大学)

ほか

「小氷期とはいつなのか？」

●G. B. バント(インド・熱帯気象研究所)

「年輪気候学的手法によるヒマラヤの小氷期の気候復元」

●王 紹武(中国・北京大学)

「中国における小氷期の気候復元」

*このほかに、カナダ・ドイツ・スイス・イタリア・オーストラリア・韓国など、海外から約40名
国内の各大学・研究機関から約40名が参加の予定

●V. A. クリマノフ(ソ連)

「ソ連における過去1000年間の気候変化」

●J. オーバーベック(アメリカ NOAA)

「小氷期寒冷化の要因をモデル化する」

●P. D. ジョーンズ(イギリス・イーストアングリア大学)

「観測時代の気候変動」

■参加登録費

●一 般：20,000円(全セッションとレセプション参加費・資料代を含む)

●学 生：14,000円(同 上)

●1日参加：10,000円(当日のセッション参加費・資料代を含む)

当日、受付でお支払いください

■セカンドサーキュラーの請求と参加申込み・問い合わせ先

〒192-03 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学理学部地理学教室内「小氷期の気候」国際シンポジウム事務局

TEL. 0426-77-2596 FAX. 0426-77-2589